

新潟支社管内 雪氷対策検討業務

特 記 仕 様 書

令和 7 年 2 月

東日本高速道路株式会社

新 潟 支 社

目 次

第1章 総 則

1－1	履行内容	1
1－2	適用する共通仕様書	1
1－3	テクリスへの登録	1
1－4	履行期間	2
1－5	資料の貸与	2
1－6	完了検査	3
1－7	部分使用	3
1－8	計画工程表	3
1－9	打合簿の作成及び提出について	4
1－10	成果品	4

第2章 業務細部に関する事項

2－1	業務の内容	4
2－2	作業計画	4
2－3	雪氷予測及び実況に対する体制構築検討	4
2－4	雪氷作業車両稼働分析検討	5
2－5	除雪ローテーション最適化検討	5
2－6	業務打合せ	6
2－7	報告書作成	6
2－8	補足事項	7

添付資料

様式－1 履行期間通知書

様式－2 計画工程表

参考資料－1

参考資料－2

参考資料－3

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 新潟支社管内 雪氷対策検討業務

1-1-2 道路名 北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道、磐越自動車道、日本海東北自動車道

1-1-3 履行箇所

北陸自動車道	(自) 朝日 IC (至) 新潟中央 JCT
関越自動車道	(自) 月夜野 IC (至) 長岡 JCT
上信越自動車道	(自) 信濃町 IC (至) 上越 JCT
磐越自動車道	(自) 津川 IC (至) 新潟中央 IC
日本海東北自動車道	(自) 新潟中央 JCT (至) 荒川胎内 IC

(以下「北陸道」、「関越道」、「上信越道」、「磐越道」、「日東道」という。)

1-1-4 主な履行内容

項 目	単位	数量
作業計画	式	1
雪氷予測及び実況に対する体制構築検討	式	1
雪氷作業車両稼働分析検討	式	1
除雪ローテーション最適化検討	式	1
業務打合せ	式	1

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)

及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式—1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

- ・全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 540 日間（まで）
- ・余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

1－5 資料の貸与

共通仕様書 1－15「資料の貸与及び返却」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

このほか、必要な資料については別途監督員と協議するものとする。

貸与資料	貸与予定日	備考
令和 3 年～令和 6 年気象予測表	契約締結後	電子データ
令和 3 年～令和 6 年降雪実績表	契約締結後	電子データ
令和 3 年～令和 6 年機械稼働実績	契約締結後	電子データ
雪氷対策要領（支社・各事務所）	契約締結後	電子データ
令和 6 年度 雪氷対策資料等作成業務	契約締結後	電子成果品
その他の雪氷対策等に関する資料	契約締結後	電子データ

なお、監督員が貸与資料の返却を求めた場合は、速やかに返却するものとする。

1-6 完了検査

1-6-1 調査等完了届提出の要件

調査等完了届提出の要件については、共有仕様書 1-3 3-2「調査等完了届の要件」によらず、受注者は、調査等完了届を発注者に提出する際には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 業務内容確認検査に合格していること。
- (2) 報告書（報告書紙および報告書電子データ）の作成が完了していること。
- (3) 契約変更を行う必要が生じた調査等においては、最終変更契約を発注者と締結していること。
ただし、契約書第 26 条に基づき請負代金額の変更、増加費用、損害額について協議中のため、この変更契約を締結できない場合で契約期間に達した場合は、その部分を除く最終変更契約書が準備されていること。

1-7 部分使用

共通仕様書 1-3 6「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
雪氷予測及び実況に対する体制構築検討結果	令和 8 年度雪氷期迄	令和 8 年度からの雪氷体制構築に向けた参考資料として使用するため
雪氷作業車両稼働分析検討結果		

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1 4-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表（様式—2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は共通仕様書 1-2 2に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、計画工程表に記載するものとする。

種 別	内 容	備 考
新潟支社管内雪氷対策検討業務	雪氷予測及び実況に対する体制構築検討	
	雪氷作業車両稼働分析検討	
	除雪ローテーション最適化検討	
業務打合せ	—	

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2 2に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で、監督員に報告するとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1 4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1－9 打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－22「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1－10 成果品

本業務における成果品については、共通仕様書 1－46「成果品」によらず、以下のとおりとする。

項目	部数
報告書（紙）	5 部
報告書（電子データ）	5 部

※1：報告書（紙）とは、白焼製本で作成したものとする。

※2：報告書（電子データ）とは、白焼製本で作成した紙の部分について電子データ化を行うものとし、調査等業務の電子納品要領によらず電子化を行うものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2－1 業務の内容

本業務は、東日本高速道路(株) 新潟支社が所掌する高速自動車国道（以下、「新潟支社管内」という。）の雪氷対策作業に関する分析検討を実施するものである。対象となる基地数については、参考資料－1 のとおりである。

2－2 作業計画

作業計画とは、業務開始に先立ち、必要な資料の収集・整理を行った上で、業務の基本方針、作業手順および除雪作業内容の整理を行い、作業計画を立案し監督員に提出することをいう。なお、作成については共通仕様書 1－14 の規定によるものとする。

2－3 雪氷予測及び実況に対する体制構築検討

雪氷予測及び実況に対する体制構築検討とは、気象予測に基づく体制判断及び気象実況に基づく体制結果について、検証するもの。分析対象期間は、令和 3 年度～令和 6 年度を対象とする。なお、分析手法の概要は下表のとおりとし、業務に先立ち監督員に内容の確認を行うものとする。

項 目	内 容
雪氷体制	気象予測⇒雪氷体制決定⇒気象実況値における雪氷体制結果の比較検証
雪氷体制（あられ）	あられ予測時における、稼働状況の整理
雪氷体制構築	初冬期での雪氷作業の実態整理

(1) 雪氷体制検証

雪氷体制検証とは本特記仕様書 1－3 に示す貸与資料を基に実態を整理するものであり、気象予測時からの雪氷体制、気象実況値に対する雪氷体制の相関性を分析するものである。

なお、除雪体制・剤散布体制の基準については、別途貸与する雪氷対策要領によるものとする。

(2) 雪氷体制（あられ）検証

雪氷体制（あられ）検証とは、本特記仕様書 1－3 に示す貸与資料を基に整理するものであり、あられ予測時において、「路面影響あり」と出た場合の稼働実態を整理するものである。

(3) 雪氷体制構築

雪氷体制構築検証とは、本特記仕様書 1－3 に示す貸与資料を基に整理するものであり、主に初終冬期である 1 1 月中旬～ 1 2 月上旬、3 月の期間中における雪氷対策作業の実態を整理するものである。

2－4 雪氷作業車両稼働分析検討

雪氷作業車両稼働分析とは、気象実況値に対し、実際の車両稼働状況との相関性を分析するものである。分析対象期間は、令和 3 年度～令和 6 年度を対象とする。なお、分析手法の概要は下記のとおりとし、業務に先立ち監督員に内容の確認を行うものとする。

(1) 各雪氷基地ごとの稼働分析検討

各雪氷基地ごとの稼働分析検討とは、本特記仕様書 1－5 に示す貸与資料及び参考資料-2 を基に行うものである。対象は除雪トラック・湿塩散布車とし、5 日単位ごとに稼働を分析するものとする。

(2) トラクターショベルの稼働分析検討

トラクターショベルの稼働分析検討とは、本特記仕様書 1－5 に示す貸与資料を基に整理するものである。対象は各雪氷基地・休憩施設とし、稼働率を 5 日単位ごとに算出するものとする。

(3) 降雪量に対する稼働分析検討

上記、(1) で検討した稼働分析と降雪量・気温・路温等の気象実況値との相関性を検討するものである。検討方法は、本特記仕様書 1－5 に示す貸与資料を基に整理するものとする。なお、参考資料-3 の取りまとめ表を参考にすること。

2－5 除雪ローテーション最適化検討

除雪ローテーション最適化検討とは、除雪・除雪＋湿塩散布・湿塩散布それぞれの最適な作業ルートを検討するものである。なお、検証手法の概要は下表のとおりとし、業務に先立ち監督員に内容の確認を行うものとする。

(1) IC・ランプ配置を踏まえた除雪・散布ルート最適化検討

IC・ランプ配置を踏まえた除雪・散布ルート最適化検討とは、本特記仕様書 1－5 に示す貸与資料を基に、実態を踏まえた効率的かつ計画的な除雪・散布の作業ルートを整理するものである。併せて各ルートの標準的な稼働時間の算出を行うものとする。

(2) 雪氷対策施設の新規設置箇所検討

雪氷対策施設の新規設置箇所検討とは、上記(1)で検討した除雪・散布作業の最適化ルートを基に検討するものである。雪氷対策施設については、下表を参考とすること。

項 目	内 容
雪氷基地	除雪作業の起点となる施設。主にインターチェンジ・休憩施設に設置されている。
雪氷Uターン路	除雪作業時にインターチェンジノーズ間のバック作業を極力避け、作業の安全性を確保するとともに、作業効率の向上を図るための施設。インターチェンジ等の前後2 km以内への設置を基本としている。
バックレーン	除雪車が後退できるように本線路肩に拡幅している施設。 除雪ローテーションの端末となるインターチェンジで、雪氷Uターン路が設置できない箇所を設置している。
除雪車両待避所	低速な除雪作業時において追従する一般通行車を開放するために本線路肩に拡幅している施設。

(3) 雪氷作業車両の最適化検討

雪氷作業車両の最適化検討とは、上記(1)・(2)の検討を踏まえ、雪氷作業車両ごとに過不足を検討するものである。

2-6 業務打合せ

2-6-1 打合せ

本業務における打合せの回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め6回を想定している。

打合せの検測数量は1式とし、交通費・日当・宿泊費、その他原価、一般管理費等に含まれる費用は除くものとする。また、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せにかかる費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取り扱いについては監督員と受注者で協議の上決定するものとする。なお、Webカメラ及びWeb会議システム等を活用する検査（Web検査）を実施する場合がある。

2-6-2 交通費・日当・宿泊費（打合せ）

交通費・日当・宿泊費（打合せ）とは、打合せの実施にあたり必要となる交通費・日当・宿泊費のことをいう。

交通費・日当・宿泊費（打合せ）の検測数量は、（式）とする。

なお、Webカメラ及びWeb会議システム等を活用する検査（Web検査）を実施した場合、交通費・日当・宿泊費（打合せ）の費用について監督員と受注者で協議の上、変更する場合がある。

2-7 報告書作成

報告書作成とは対象となる期間における業務結果を次の項目内容ごとに取りまとめ、報告書を作成するもの。

- 1) 本特記仕様書2-3に基づき実施した検証内容のとりまとめ
- 2) 本特記仕様書2-4に基づき実施した検討内容のとりまとめ
- 3) 本特記仕様書2-5に基づき実施した検討内容のとりまとめ

なお、対象期間中監督員が上記内容に関して報告を指示した場合、受注者はその内容について

とりまとめ、監督員に提出するものとする。

また、報告書作成に伴うデータ整理の費用は、本特記仕様書 2-3、2-4、2-5 に含むものとするため、報告書作成では、検討結果でまとめた資料を取りまとめ報告書を作成する費用のみを計上とする。

2-8 補足事項

下記に示す事項については、変更する可能性があるので、監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は、速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は別途監督員と協議を行うものとする。

- (1) 雪氷作業に関する新技術・新工法の調査を追加する場合がある。
- (2) 雪氷体制判断に使用する体制判断シートの作成を追加する場合がある。
- (3) 凍結防止剤散布量に関する分析検討を追加する場合がある。
- (4) 貸与資料について、追加する場合がある。

以 上

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名) 新潟支社管内 雪氷対策検討業務

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

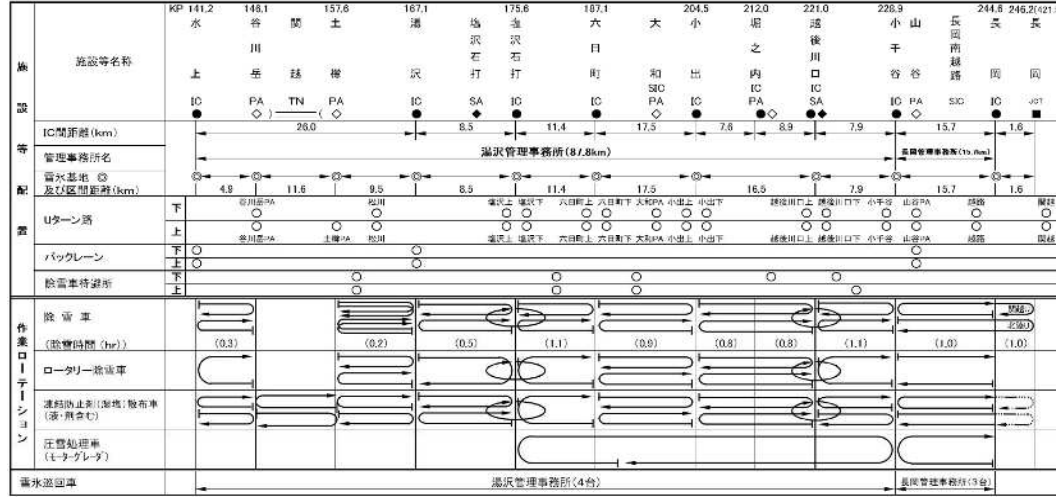
(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

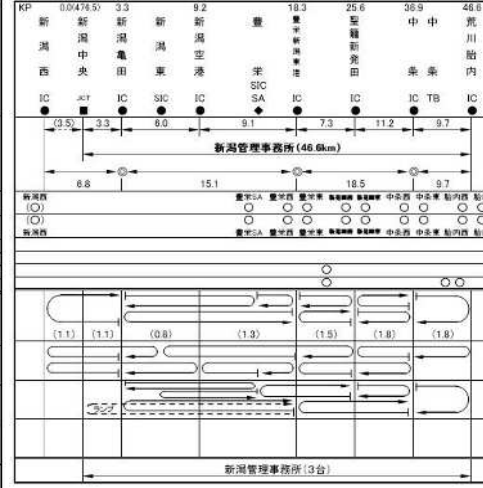
協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

[illegible]

関越自動車道



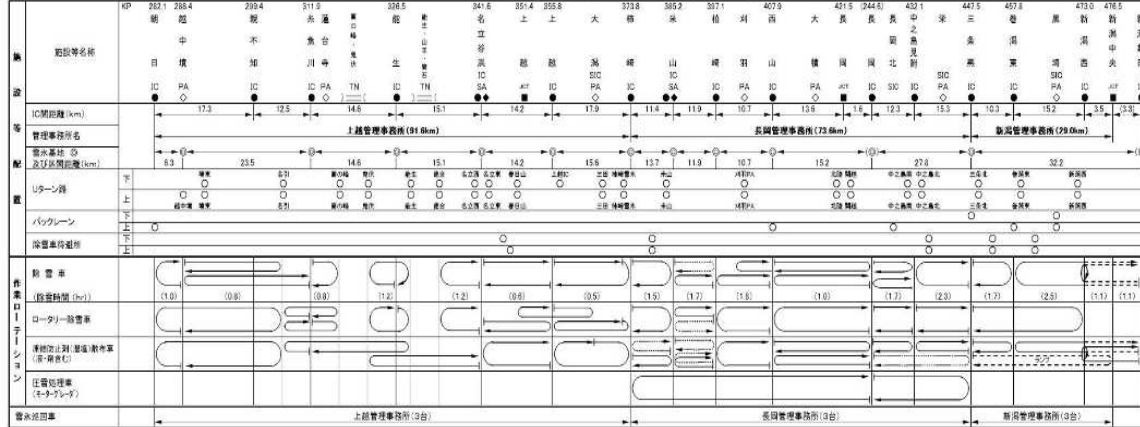
日本海東北自動車道



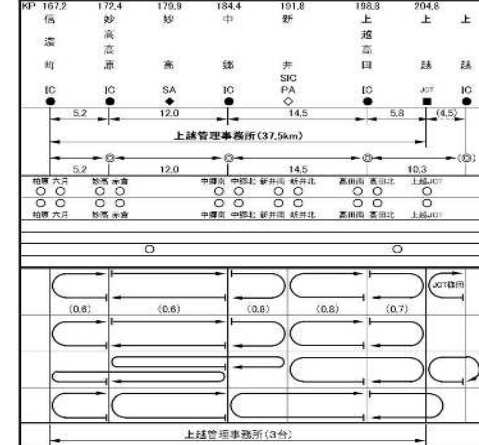
磐越自動車道



北陸自動車道 朝日IC~新潟中央JCT間



上信越自動車道



車両稼働率

基地	月	日	R3		R4		R5		R6		R3～R6
			稼働日	稼働率	稼働日	稼働率	稼働日	稼働率	稼働日	稼働率	
〇〇	11月	10	×	0%	×	17%	×	50%	×	50%	29%
		11	×		×		×		×		
		12	×		×		○		○		
		13	×		×		○		○		
		14	×		×		×		×		
		15	×		○		○		○		
		16	×	0%	○	20%	×	20%	×	20%	13%
		17	×		×		×		×		
		18	×		×		×		×		
		19	×		×		×		×		
		20	×		×		○		○		
		21	×	0%	×	0%	×	40%	×	40%	13%
		22	×		×		×		×		
		23	×		×		×		×		
		24	×		×		○		○		
		25	×		×		○		○		
		26	○	80%	×	0%	○	80%	○	80%	53%
		27	○		×		×		×		
		28	○		×		○		○		
		29	○		×		○		○		
		30	×		×		○		○		
	12月	1	○	80%	×	60%	○	80%	○	80%	73%
		2	○		○		○		○		
		3	×		×		○		○		
		4	○		○		○		○		
		5	○		○		×		×		
		6	×	40%	×	40%	×	0%	×	0%	27%
		7	×		○		×		×		
		8	○		○		×		×		
		9	○		×		×		×		
		10	×		×		×		×		
		11	×	40%	○	80%	×	0%	×	0%	40%
		12	×		×		×		×		
		13	○		○		×		×		
		14	○		○		×		×		
		15	×		○		×		×		
		16	×	80%	○	100%	○	100%	○	100%	93%
		17	○		○		○		○		
		18	○		○		○		○		
		19	○		○		○		○		
		20	○		○		○		○		
		21	×	60%	○	80%	○	100%	○	100%	80%
		22	○		○		○		○		
		23	○		×		○		○		
		24	×		○		○		○		
		25	○		○		○		○		
		26	○	100%	○	100%	○	83%	○	83%	94%
		27	○		○		○		○		
		28	○		○		○		○		
		29	○		○		○		○		
		30	○		○		○		○		
		31	○		○		×		×		

R 5 予実累計降雪量散布図

R5冬期（11～4月）

